

YAMAHA

フルサイズボディのレース専用モデル
ヤマハコンペティション『TZ50』
発売について

1989年11月

ヤマハ発動機株式会社

当社では、水冷・2サイクル・ピストンリードバルブ吸気の50ccエンジンを搭載するヤマハコンペティション『TZ50』を1990年3月1日より新発売いたします。

『TZ50』は、さきの東京モーターショーに出品のヤマハ2サイクルスポーツ『TZR50』と同時開発によるコンペティション専用モデルです。回転全域にわたる加速性能を重視して開発にあたったエンジンと、前16インチ、後17インチホイール採用によるフルサイズボディが特徴で、12インチホイールサイズモデルによるミニバイクレースとは一味違う、フルサイズボディによる本格的なレースの楽しさを提供します。

なお、当社では『TZ50』によるワンメイクレースとして1990年3月下旬から「Y.E.S.S. No.1 カップシリーズ MP-16」を全国各地でシリーズ戦として開催して参ります。

記

名 称 : ヤマハコンペティション『TZ50』

発 売 日 : 1990年3月1日

メーカー希望小売価格 : 289,000円(消費税を含まず)

カ ラ ー リ ン グ : ホワイト

販 売 計 画 : 1,000台(年間、国内)

開 発 の 狙 い

国内でのロードレースはここ数年、参加するスポーツとして根強い人気を保っています。それは、250ccロードレーサーやTT-F3マシンによる全日本選手権や地方選手権のタイトルを賭けたレースへの人気だけではありません。

比較的安い費用で本格的なロードレースマインドを楽しめるSP400、SP250、SP250F、SP125という市販車ベースのカテゴリーが人気を集め、一方においては「YSR50」や「TDR50」等50cc市販スポーツモデルによるミニバイクレースが各地で盛り上りを見せています。今年度の全国各地のミニバイクレース開催状況を見ても、6月中旬時点で各Y.E.S.S.ショップ会主催の『No.1 カップシリーズ』を含め開催数は100を超え、延べエントリー台数は約8,000台という数字を示しています。

こうした状況の中で、50ccのフルパワー、フルサイズを具現化しながら、モーターサイクルスポーツの広汎な底辺需要を一層広げるために開発にあたったのが『TZ50』です。したがって、『TZ50』では、従来の12インチモデルによるミニバイクレースとはひと味違い、上級レーシングマシンにまで通用する走りを満喫でき、上級テクニックを十分に磨くことができるパフォーマンスを持たせています。

主 な 特 徴

■ パワーユニット関係

1. 加速性能重視の水冷・2サイクルエンジン

搭載するエンジンは、低速から高速まで全回転域にわたる加速性能を重視して開発にあたった水冷・2サイクル・ピストンリードバルブ吸気の単気筒50cc。最大出力は8.3ps/9,500rpm、最大トルクは、0.65kg-m/8,500rpmを発揮するものとしています。

2. 新作シリンダー、大型ポート、樹脂製大型リードバルブの採用

このハイパワーは、各ポートの大型化、樹脂製大型リードバルブ、さらに冷却性向上を狙って排気ポート下部にも冷却水をまわす構造とした新作シリンダーの採用など、これらのトータルなコンビネーションで可能となったもの。パワーを安定して引き出すために、コア幅220×148mmで放熱量5,900kcalの大型ラジエターを採用するとともに、フライホイールのローター径はφ100mmの小径タイプとしてクランク慣性マスを少なく設定し、エンジンフィーリングの向上を達成しています。

3. 50ccモデル初、マイコン制御のデジタル進角点火方式の採用

このハイパワーエンジンのもうひとつの重要フィーチャーとなっているのが、50ccモデルでは初のマイクロコンピューター制御のデジタル進角点火方式の採用です。低回転域から高回転域まで、エンジン回転数の要求する理想的な点火タイミングが得られます。

■車体関係

1. 操縦性と安定性との絶妙なバランスを得た新設計フレーム

フレームは、角型高張力鋼管を使用した高剛性のダブルクレードルフレームを採用しています。フルサイズ設計により走行時の剛性感を高めるとともに、操縦性と安定性との絶妙なバランスを得ている点が特徴です。

2. 大径インナーチューブ採用のフロントフォーク

フロントフォークは、φ30mm インナーチューブを採用。コンペティションモデルとしての走りに焦点を合わせてスプリング特性とダンパーオイル量を設定し、高剛性を確保するとともに優れたサスペンション性能を得ています。リヤには定評のモノクロスサスペンションを採用しました。

3. ワンクラス上の操縦安定性を達成

車体関係の設計にあたっては、ワンクラス上の、つまり125ccモデルに迫る操縦安定性の追求をテーマとしました。

ディメンションは、ホイールベース1250mm、キャスト $24^{\circ} 30'$ 、トレール78mmの設定です。従来の50ccフルサイズスポーツモデルと比較して、エンジンマウント位置を前方へ移しフロント荷重分布は48.5%に設定、キャストを僅かに立てた点が特徴です。

フロント16インチ、リヤ17インチホイールの採用を含めたこうしたディメンションの設定により、剛性感をもち操縦安定性重視の設定としながらも、ミニバイクレース用コース等で求められるニュートラルなステアリング特性を兼ね備えています。

4. フロント大径ディスクブレーキ、2ポットキャリパーの採用

フロントには、φ245mm大径ディスクブレーキと2ポットキャリパーを装備。ブレーキホースには、膨張率が低いステンレスメッシュホースを採用し、ブレーキング時のタッチを一層向上させています。

リヤブレーキには、シングルディスクブレーキを採用しています。

5. 前後レース専用ハイグリップタイヤの装着

フロントにはMT1.85-16インチ、リヤにはMT2.15-17インチのニューキャストホイールを採用。ホイール単体重量はフロント2.7kg、リヤ3.2kgと軽量な中空スポークタイプです。これにフロント80/90-16、リヤ90/90-17インチサイズのハイグリップタイヤを装着、高いグリップ力で旋回性、操縦安定性を発揮します。

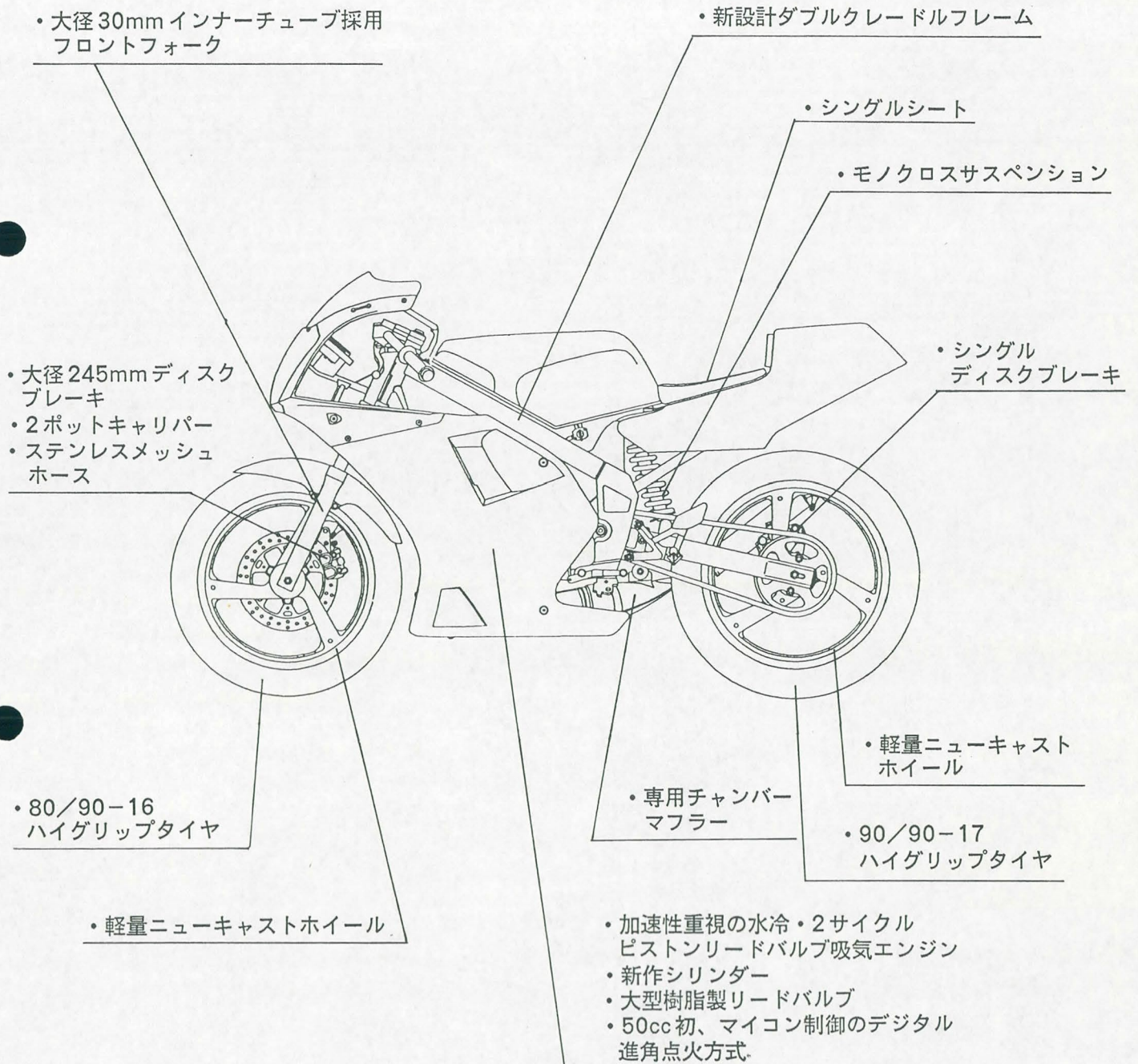
6. 大型タコメーター、水温計の装備

メーターパネルには本格的な大型タコメーター、水温計を装備しています。

7. レース活動を支える充実した同梱パーツ

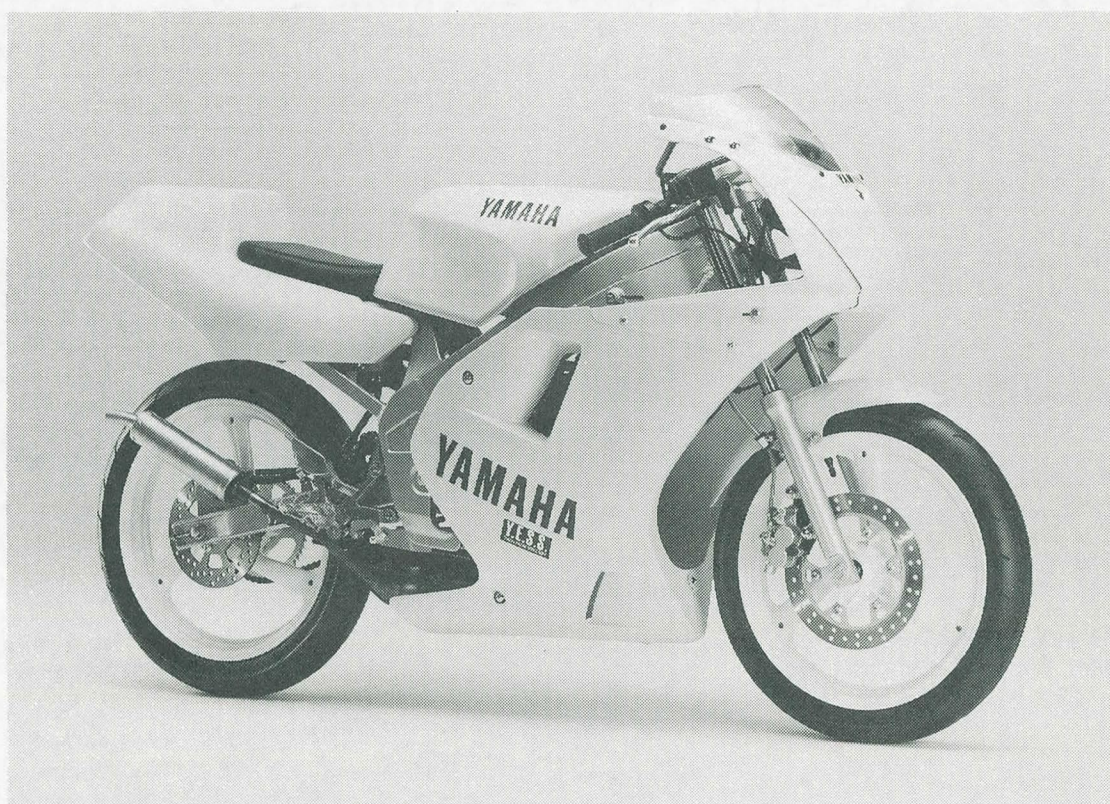
常にマシンをベストな状態に維持するためのスペアパーツ、さらにコース状況にあわせるためのセッティングパーツなど、レース活動に必要なパーツが同梱されています。同梱パーツ類としては、レーシングスタンド、ピストン、キャブセッティングパーツ、スプロケットなどが含まれています。

『TZ50』フィーチャーマップ



ヤマハコンペティション「TZ50」仕様諸元表

| | | | | | | | | |
|-------|-----------|---------------------|-------------------------|--------|--------------|-------------|---------------------|--|
| 名称及型式 | 名 称 | ヤマハスポーツ TZ50 | 動力伝達装置 | 1次減速機構 | ギヤ | | | |
| | 型 式 | 3XM | | 同上変速比 | 68/19 | 3.578 | | |
| 寸法及重量 | 全 長 | 1820mm | 動力伝達装置 | 2次減速機構 | チェーン | | | |
| | 全 幅 | 600mm | | 同上変速比 | 47/12 | 3.916 | | |
| | 全 高 | 1025mm | | クラッチ形式 | 湿式多板 | | | |
| | シ ー ト 高 | 760mm | | 変速機 | 形 式 | 常時噛合式前進6段 | | |
| | 軸 間 距 離 | 1250mm | | | 操 作 方 法 | 左足動リターン式 | | |
| | 最 低 地 上 高 | 130mm | | | 変速比1速 | 39/12 | 3.250 | |
| | 乾 燥 重 量 | 77kg | | | “ 2速 | 34/16 | 2.125 | |
| | | | | | “ 3速 | 31/20 | 1.550 | |
| | | “ 4速 | 27/22 | | 1.227 | | | |
| 性能 | 舗装平坦路燃費 | 80km/ℓ (30km/h) | 機 | “ 5速 | 26/25 | 1.040 | | |
| | 最小回転半径 | 2.8m | | “ 6速 | 24/26 | 0.923 | | |
| | 制動停止距離 | 3.5m (20km/h) | | | | | | |
| 原動機 | 原動機種類 | 2サイクル・水冷・ピストンリードバルブ | フレーム形式 | | ダブルクレードル | | | |
| | 気筒数配列 | 単気筒 | 走行装置 | キャスト | 24° 30' | | | |
| | 総排気量 | 49cc | | トレール | 78mm | | | |
| | 内径×行程 | 40.0mm×39.7mm | タイヤサイズ | 前 | 80/90-16 43P | | | |
| | 圧縮比 | 8.2:1 | | 後 | 90/90-17 49P | | | |
| | 最高出力 | 8.3ps/9500rpm | 制動装置 | 形 式 | 前 | 油圧式シングルディスク | | |
| | 最大トルク | 0.65kg-m/8500rpm | | | 後 | 油圧式シングルディスク | | |
| | 始動方式 | 押しがけ | ブレーキ胴径 又は ディスク有効径 | 前 | 219mm | | | |
| | 潤滑方式 | 混合給油 (ヤマハオートループ) | | 後 | 172mm | | | |
| 燃料装置 | 燃料タンク容量 | 10ℓ | 装懸置架 | 懸架方式 | 前 | テレスコピック | | |
| | キャブレター型式 | VM16SS | | | 後 | スイングアーム | | |
| | 電気装置 | 点火方式 | C.D.I | 緩衝装置 | 緩衝方式 | 前 | オイルダンパー、コイルスプリング | |
| | | 点火プラグ型式 | BR9EV | | | 後 | ガス、オイルダンパー、コイルスプリング | |
| | | | ホイールトラベル | 前 | 130mm | | | |
| | | | | 後 | 100mm | | | |
| | | | 装着 | | 回転計、水温計 | | | |



ヤマハコンペティション『TZ50』